



伊藤青少年
育成奨学会

奨学会だより

vol.42

令和8年10月15日

年2回発行
(4月・10月)

高等学校等クラブ活動・地域振興活動

令和八年度 助成事業

伊藤青少年育成奨学会（公益財団法人、田代久美子理事長）は、総額七千八百八十八万円にのぼる令和八年度高等学校等クラブ活動・地域振興助成事業を決定、七月七日、可児市大森の（株）バローホールディングス研修センター「嫩葉舎」で贈呈式を開催しました。

令和八年度助成事業への応募団体は、高等学校等クラブが六十八校、百五十六クラブ（内スポーツ系クラブ九十一、文化系クラブ六十五）、助成申請額一億一千四百四十三万円、地域振

興団体等五十団体、助成申請額四千八百八十五万円で、申請総額は一億五千六百二十八万円にのぼりました。

この中から、厳正な書類選考により、高等学校等クラブ活動五十七校、八十一クラブ（内スポーツ系クラブ四十七、文化系クラブ三十四）、地域振興団体等

二十七団体を助成対象団体に認定。助成額は高等学校等クラブ活動五千四百九十八万円（内スポーツ系クラブ二千九百二十八万円、文化系クラブ二千五百七十万円）、地域振興団体千六百九十万円の、総額七千八百八十八万円です。

公益財団法人伊藤青少年育成奨学会は平成十一年十二月二十七日、バローホールディングスの創業者故伊藤喜美氏が寄贈した同社の株式を原資に設立。令和八年度までに実施した助成事業の総額は約七億九千万円にのびます。

七月七日は、故伊藤喜美氏の命日であり、これを記念して毎年この日に、高等学校等クラブ活動、地域振興活動助成事業の贈呈式を

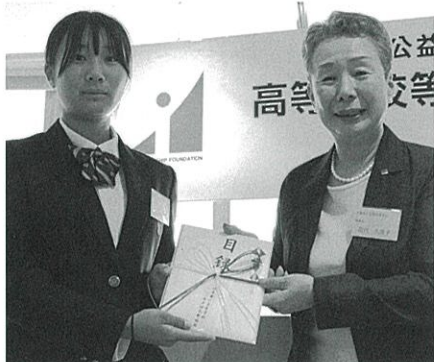
行っており、贈呈式には助成対象の百八団体から、高等学校等クラブのキャプテンなど五十六人をはじめ、全百五十八人が出席。長谷川佳子選考委員長の選考講評、堀貴雄教育長の来賓あいさつの後、田代久美子理事長が、認定団体を代表して岐阜第一高校女子硬式野球部、坂下高校ギター・マンドリン部、岐阜県女子相撲連盟の三団体に目録を手渡し激励。岐阜第一高校女子硬式野球部の松井滯キャプテンが「女子硬式野球の認知度を高めるとともに、助成支援に込められるよう自ら考え、行動し、周囲に良い影響を与えられるリーダーとなることを目指します」と謝辞を述べました。



謝辞を述べる岐阜第一高校
女子硬式野球部

キャプテン 松井 滯さん

目録授与団体



岐阜第一高校 女子硬式野球部
「ロングスローボールマシンなど」



坂下高校 ギター・マンドリン部
「落合マンドリンの購入」



岐阜県女子相撲連盟
「可動式土俵マットなど」

〈助成事業の報告〉

「バロー号」奮闘中 今年もインターハイ出場

大垣養老高校 動物部門

顧問 三輪 嘉文

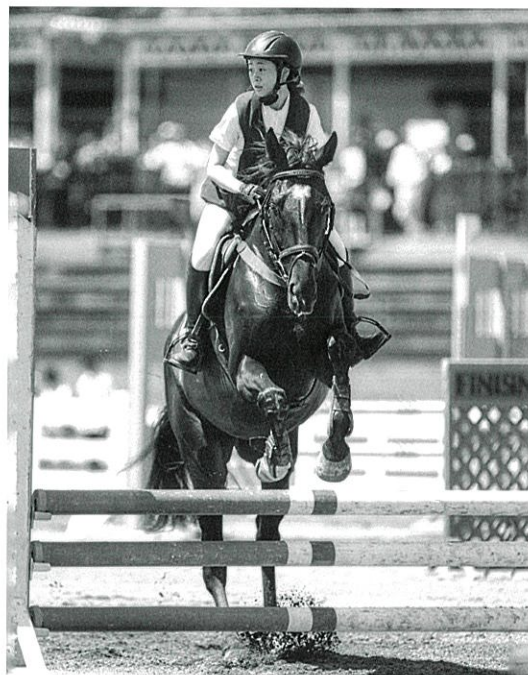
三年前、貴奨学会より助成を受け購入させていただいたことで発足しました馬術部が発展していることへの感謝の気持ちを伝えたくて、お手紙しました。

その時に購入させていただいた「バロー嘉光」号は、馬術未経験の生徒の良き先生となって大活躍してくれています。遠方から本校に入学してくれる生徒や、馬や命あるものに全力で向き合う生徒の育成にもつながり、今では全国大会に出場できる部活になってきました。これは、貴奨学会からの助成によって馬具が整備でき、騎乗者の命を守るエアバッグが購入でき、さらには乗馬場の整備と念願の乗馬の購入と、今、私や馬術部

員や動物科学科の生徒が生き生きと学校生活を送れるのは、貴奨学会のご支援あつてのことと心より感謝しています。

今後もこのご縁を大切にし、さらに活動を発展させたいと考えています。また、今年度のご支援も、本校生徒及び地域振興につなげていきたいと思っています。

昨年のインターハイで活躍するバロー号と、河原知咲さん



令和八年度助成団体一覧

高等学校等クラブ活動

池田	女子バスケットボール部	岐南工業	機械工学研究会
恵那	男子女子バレーボール部	岐阜	卓球部
	バドミントン部	岐阜各務野	情報メディア部
	探求企画部	岐阜北	女子テニス部
大垣北	弓道部	岐阜工業	ラグビー部
大垣工業	かるた部	岐阜高専	土木・建築研究部
	陸上競技部	県岐阜商業	吹奏楽部
	レスリング部		剣道部
	芸術部（美術班）	岐阜聖徳学園	水泳部
	建設工学部	岐阜城北	陸上競技部
	放送部	岐阜女子	バドミントン部
大垣商業	ソフトボール部		書道部
大垣西	書道部	岐阜清流高等特支	吹奏楽部
大垣東	バドミントン部	岐阜総合学園	サッカー部
大垣南	陸上競技部	岐阜第一	美術部写真班
大垣養老	アクアポニックス班	岐阜農林	女子硬式野球部
	演劇部	岐阜本巣特支	コンクリート研究クラブ
	農業研究部・動物（牛班）	郡上	サッカー部
各務原西	剣道部	郡上北	硬式野球部
可児	弓道部		女子バレーボール部
可児工業	硬式野球部	啓晴	ライフル射撃部
加納	男子ホッケー部	坂下	プログラミング部
加茂	陸上競技部	城南	ギター・マンドリン部
	女子バレーボール部	済美	卓球部
	書道部	関	バレーボール部
			テニス部

華陽フロンティア

（定時制）男子バレーボール部

日本人らしさ

理事長 田代 久美子

民族にあるのは当たり前なのです。中東のある国では「白を黒と言いくるめる弁論を尊ぶ文化がある。その技巧や条件闘争を誇る気風すらある」。文明と文明が衝突し、潰し合う大陸ではその国のみならず多かれ少なかれその傾向があり、それが彼らの生存戦略であつたのでしょう。闘争の遺伝子を持ったものしか生き残れなかつたということです。

これらのことから日本人は国際間の話し合いは譲り合つて合意を形成するものと思つていますが、他国は往々にして言い負かそうと頑張るのが話し合いと思つてゐるかもしれません。これは善惡の問題ではなく、遺伝子レベルの相違です。日本人は世界の辺境であることに守られて来たためそのような相違に無自覺に生きてきました。が、世界が狭くなつた現在、もう少し自覺的かつ冷静に、多様な民族と付き合う必要があるのではないでしようか。

その地で生き抜くために適した
遺伝子レベルの生存戦略が、各

地域振興活動

学校法人華陽学園岐阜女子大学

第81回国民スポーツ大会冬季大会スケー

ト競技会(スピード)岐阜県実行委員会

清流木曾川中津川リレーマラソン大会実行委員会

中津川市レスリング協会

多治見修道院建物調査実行委員会

第74回全国高等学校家庭クラブ研究発表会

表大会岐阜大会実行委員会

岐南工業高等学校

大垣養老高等学校 動物部門

岐阜希望が丘特別支援学校

岐阜県女子相撲連盟

岐阜市水泳協会

かみやなぎ観光協会

中山道加納宿文化保存会

中野方めれた囃子保存会

恵那音楽劇の会

ママプラスほっほ

東濃ウインドオーケストラ

M
V
C

みのかも地域クラブ
美濃加茂東クラブ

多治見シュニアバドミントンクラブ

(一社) Jimmy スポーツクラブ

惠那シュニアローイングクラブ

共栄剣道少年団

恵那東剣道クラブ

第五回漱玉館杯争奪 女子学生選抜剣道大会



第五回漱玉館杯争奪
女子学生選抜剣道大会

伊藤青少年育成奨学会は、第五回漱玉館杯争奪『女子学生選抜剣道大会』を、十一月十四日(土) 午前九時より、岐阜県可児市の武道場「漱玉館」にて開催します。

出場は当奨学会が選抜した日本体育大学、環太平洋大学、福井工業大学、愛知学院大学、星城大学、中京大学、朝日大学、中部学院大学の八大学女子剣道部。一チーム五人制で、予選リーグを行い、上位四チームによる決勝トーナメントで漱玉杯を争います。

また、上位四チームから選抜した五選手と、渡辺正行さん(タレント)率いるゲストチームとの特別試合も行い

ます。ゲストチームのメンバーは、全日本女子剣道選手権優勝三回、世界大会団体優勝2回の末永真理さんら、全日本女子剣道選手権出場者に、タレント・女優の佐藤あかりさんの六人。大会の模様は後日、渡辺さんが主宰するYouTube「剣道まっしぐら」にて配信されます。

武道場「漱玉館」は、当奨学会の創設二十周年を記念して、伝統文化の伝承に資することを目的に令和三年九月に竣工。同月から施設貸与事業をスタートしています。

第五回漱玉館杯争奪

『女子学生選抜剣道大会』

日時 令和八年十一月十四日(土)
会場 「漱玉館」(可児市大森)

共催 (公財)伊藤青少年育成奨学会
(株)バローホールディングス

後援 多治見市剣道連盟
岐阜県剣道連盟

奨学生頑張ってます

議論とは理解すること

東京農業大学

地域環境科学部生産環境工学科

三年 加藤 秀梧

とき、そういった場所に楽しんで参加できるようになった」と。この言葉が私の心に深く響きました。

私の入居している寮には寮祭というイベントがあり、歴代の寮生OBが来訪し、大学での生活、学ぶべきこと、また自身の仕事の現況などを語ってくださいます。その中である方のスピーチに非常に心打たれました。その方は「寮や学校で人と何かについて議論することはとても大事」とお話しされていました。入寮したての頃は、人の意見を否定し合ったり、話し合いが激化したりする場があまり好きではなかったそうです。私も全く同じ気持ちであったため、とても興味深く聞き入りました。また、続けてこんなことを言われました。「でもそんな中で人の言う事を否定する人や、話し合いを激化させる人は、相手のことをもっと知りたいから、理解しようとしているからそうしている。それに気づいた

とき、人と関わるというものには多大な知識だけではなく体力や精神力も必要だと感じています。そういったものを養うために日々、トレーニングやサークル活動に励んでいます。また習い事としてキックボクシングを始めました。新たなスポーツに挑戦する事で、心身の柔軟性を高めています。

興味深い実験

東京農工大学 農学部共同獣医科

二年 杉山 孝樹

一年生後期では、前期に比べて実習の授業が増えました。内容としてはマウスを用いた糖負荷試験や、去勢、避妊手術、ウシガエルを用いた筋収縮や心臓の拍動に関する実験など、様々な興味深い実験を行いました。それらに加え、解剖実習も始まりました。現在扱っているのはイヌで、皮膚をはがすところから解剖を始めました。もちろん初めてのことで、最初はメスやピンセットの使い方にも慣れず、わからないことだらけでしたが、先生方から多くのことを学び、班員のみなさんと

協力して解剖を進めることができました。生徒が主体となって解剖を進めたのはイヌのみですが、ウシの解剖を見学する機会もありました。ウシの解剖では、体長が非常に大きいので数人がかりでないと解剖体を運ぶこともできず、骨を切断するために工事現場で使うような工具を使っていたのには驚きました。

二年生前期の授業が始まってからは、週三四時間の解剖実習があるのでへとへとになって帰ってくることもしばしばですが、毎日の授業に遅れないようにしっかりと睡眠時間を確保してきます。

大学ではミニホースの会というアメリカンミニチュアホースの世話をする

協力して解剖を進めることができました。生徒が主体となって解剖を進めたのはイヌのみですが、ウシの解剖を見学する機会もありました。ウシの解剖では、体長が非常に大きいので数人がかりでないと解剖体を運ぶこともできず、骨を切断するために工事現場で使うような工具を使っていたのには驚きました。

令和9年度
奨学生応募受付開始

未知の世界へ

奨学金給付事業
応募期間：令和9年11月21日(土)～12月20日(日) 応募受付開始

助成事業
応募期間：令和9年3月21日(日)～4月20日(水) 応募受付開始

公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会

伊藤青少年育成奨学会は、「令和九年度 大学・大学院奨学生」の応募を、十一月二十一日から十二月二十日まで受け付けます。応募方法の詳細は当奨学会ホームページに記載しています。「大学奨学生応募要項」「大学院奨学生応募要項」を確認してください。

サークルに所属しています。一年生の後期に当時の三年生が引退し、人数が少なくなりましたが、協力して世話を続けられています。さらに、世話だけではなく、ウマの飼育に役立てるために英語の文献を日本語に翻訳して飼育に関する知識を得る活動にも参加しています。

感謝の気持ちを忘れずに

岐阜大学 医学部医学科

二年 小原 萌衣花

二年生に入り、解剖実習が始まりま

人体の構造を学ぶ

岐阜大学 医学部医学科

二年 山田 麻姫

二年生ではいよいよ解剖実習が始まり、実際に遺体を用いて、人体の細かい構造を学ばせていただいています。教科書を読んだり、授業で聞いたりするだけでは分からない、人体の複雑な構造を立体的に観察でき階層性への理解がより一層深まりました。

また、教科書の内容は平均的なものであるということを実感しました。実

した。解剖実習は「人」を解剖させていただきます。慣れてくると、このことを当たり前のように思ってしまうようになりますが、献体してくださる方がいるからできています。日々感謝の気持ちを忘れずに、実習をさせていただきます。

教科書を眺めていても、理解しづらい人体の構造が、解剖を行うとすっと頭に入ってくるのは不思議です。今後もし予習・復習を怠ることなく学んでいきたいです。大変と言われる二年生の前期ですが、くらいいつてがんばっていきます。

際は筋や脂肪の厚さが異なっており、血管の走行も人によつては大きな違いがあることがよく分かりました。このように解剖実習を通して、知識が身についたのはもちろん、人体の構造の繊細さを実感し、高い専門性と技術、丁寧な施術が不可欠であることを学びました。

これから六月末まで解剖実習が続くので、ご遺体への敬意を忘れず、学べることに感謝して、さらに多くのことを学べるように、精力的に励みます。

奨学生頑張ってます

科学の魅力の共有へ

名古屋大学 理学部化学科

二年 杉本 幸太郎

現在、私は科学の面白さを社会に広く伝える「サイエンスコミュニケーション」の活動に注力しています。中学生や高校生の素粒子探求活動をサポートする「加速キッチン合同会社」の学生スタッフとして活動中です。昨年度は、筑波大学付属視

覚特別支援学校で視覚に障害がある生徒を対象とした、素粒子について学ぶワークショップの企画・運営を行いました。ワークショップでは、放射線が発生する仕組みを解説した上で、生徒自身の手で実験装置を組み立て、放射線の検出に挑戦してもらいました。放射線の強弱を音に変換して伝える検出器を用いたことにより、視覚に頼らずとも放射線の存在を体感できるようになり、参加した生徒に素粒子の楽しさを実感してもらえました。この経験は、私が活動を続けるための大きな原動力となっています。今後は視覚や振動で現

象を実感できる「振動する検出器」の開発に挑戦したいと考えています。

さらに活動の場を東海地方にも広げ、障碍のある方もない方も一緒に科学の魅力を共有できる、インクルーシブな場を創り出すことが目標です。

ロケットコンテスト

早稲田大学

機械科学・航空宇宙学科

二年 三嶋 秀一朗

私はサークルでモデルロケットの開発に取り組んでいます。三月に種子島でロケットコンテストがあり、その高度部門、すなわち各チームが同じエンジンを使い、高度を競う部門に挑戦しました。CADで設計を行い、ロケットのボディ部分を軽量化するために、強化プラスチックを液体の樹脂から成型するといった高度を上げる研究を重ねました。そして本番では、チーム史上最も高く飛行しましたが、十五チーム中七位という結果でした。原因は、機体の重

心が不安定で、飛行中に螺旋状にスピンしていたことにあると考えられます。一年生だけのチームで経験が浅いとはいえ、非常に悔しい結果でした。結果発表後の技術交流では、各チームの技術をノートに記録し、来年は優勝することを誓いました。今は、ロククーンと呼ばれる気球発射式ロケットの開発をしています。これは、気球を上空二十メートルまで上昇させ、それに搭載したモデルロケットを打ち上げるという取り組みです。成功すれば日本の学生団体初となる挑戦です。私は、気球の姿勢制御と分離、ロケットの点火、発射台の作成を担当しています。具体的

ソーラーカー製造

名古屋大学 創造工学教育課程

材料エネルギーコース

三年 棚橋 真洋

私はソーラーカー部に所属しています。ソーラーカー部では主にバッテリーの開発を行っていて、春休みはその制作に追われ、一年生と共に、慣れない作業に取り組みました。バッテリーを収納するバッテリーボックスを作製したのですが、前回の作製が二〇一九年ということもあり技術が継承されておらず何回か失敗しました。しかし後輩と協力して春休みの終わりに無事完成させることができました。

現在二〇二七年の大会で使うバッテリーを新しく開発するために、海外の企業の方に連絡を取っているところです。いいものを開発できるように粘り強く関わっていきたいです。

には、CADで設計し3Dプリントしたもので試験を行い、強度や安定性、上空という低温低圧の環境下で満足に機能するのかという検証を繰り返しています。先輩の代から九年間未だに成功したことはありませんが、過去のデータや新たな文献をもとに分析を進めながら、チーム一丸となって開発を続けています。規模は全く異なりますが、H3ロケットも失敗を乗り越えて成功を収めました。それと同じように、私たちもここで諦めるわけにはいきません。今年こそは成功させられるよう、全力で取り組み続ける所存です。

公益財団法人

伊藤青少年育成奨学会

〒507-0062 岐阜県多治見市大針町661番地の1
株式会社パローホールディングス本部内
※Eメールアドレス、電話番号はホームページでご確認願います。
<https://www.ito-zaidan.or.jp>



発行 公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会
印刷 新日本印刷株式会社